

日本食肉加工情報

毎月1回発行

11

2023 NOV.

No.881

特集 1

最近の景品表示法の動きについて

特集 2

フィリピンにおける食肉加工品の輸入規制および手続きについて

窓

第96回 一般社団法人食肉科学技術研究所
理事 小林 博行 氏 (公益財団法人日本食肉流通センター 専務理事)
「青い海と空」

業界をめぐる動き

- ・9月役員会の開催について
- ・「竹内裕嗣氏黄綬褒章受章、清田浩徳氏藍綬褒章受章 合同祝賀会」開催
- ・DLGコンテスト第5回日本大会4年ぶりに開催される
— 81社から457品がエントリー — 畜産ライター 近田 康二
- ・香港 FOOD EXPO PRO 2023 試食アンケートの結果について
- ・関係省庁からの情報提供などについて(会員組合員宛配信情報)
- ・食肉科研(KAKEN) コラム #98

ひろば

第93回 (一社)食肉科学技術研究所

海外情報

中国 総飼養頭数は増加に転じる中で、豚肉価格は引き続き低水準



内容をちょっと読み



SPECIAL
EDITION

特集

最近の景品表示法の動きについて

高居 良平 消費者庁表示対策課長

1. はじめに

表示対策課は、一般消費者による自主的かつ合理的な選択を阻害するおそれのある不当な表示及び過大な景品類の提供行為に対して厳正・迅速に対処するなどの景品表示法の運用に加えて、健康増進法上の虚偽誇大表示に対する執行のほか、家庭用品の品質に関する表示の適正化を図る家庭用品品質表示法の運用などを行っている。本稿では、最近の景品表示法の動きを中心に御紹介する。

2. 令和4年度の景品表示法の運用状況

令和4年度においては、空間除菌用品や新型コロナウイルスの感染予防効果を標ぼうする食品の販売事業者に対す

る件や、商品が使い捨てられ又は土中に埋めるなどして、その環境下で生分解(ある一定の条件の下で自然界に豊富に存在する微生物などの働きによって分解し、最終的には二酸化炭素と水にまで変化すること)するかのように示す表示をしていた生分解性プラスチック製品の販売事業者に対する件、客観的な調査手法で調査を行わずに利用者満足度を第1位としていたオンライン個別学習指導に係る役務の提供事業者に対する件などを特徴的な分野として、景品表示法に基づく措置命令などの行政処分を行った。

続きは定期購読で!

定期購読のお問い合わせ

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 総務部

TEL : 03-3444-1211 FAX : 03-3441-8287 E-mail : ask@hamukumi.or.jp